

## 伊勢湾貧酸素情報（第 1 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

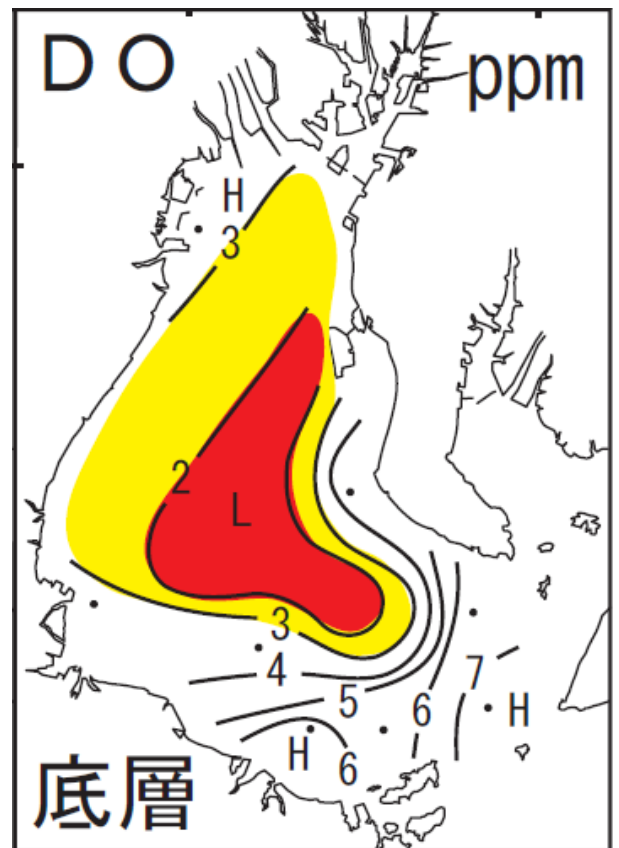
伊勢湾の底層では溶存酸素量の低下が始まり、湾中央部に 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

### 6 月 16 日の調査結果

6 月 16 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 19.7～23.7℃、10m で 17.9～19.7℃、底層で 15.2～18.6℃の範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10m で平年並、底層では平年並からやや高めとなりました。

DO（溶存酸素量）は表層で 8.1～14.7ppm、10m で 2.7～8.0ppm、底層で 1.1～7.1ppm の範囲にあり、表層は平年より高め、10m と底層では平年並であり、湾中央部に 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後水温の上昇などに伴って、底層の貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図